

DailySaynie From MusicClass



Spoons

スプーンズ

《高める》趣味を探そう。

趣味には《味わう/高める》という二つの面があると、私は考えている。例えば漫画を読む、音楽を聴く、おいしいものを食べるといったインプットは様々な文化を《味わう》ことをメインに据えた行為だ。それに対して、イラストを描く、楽器を演奏する、料理を作るといったアウトプットには自分の能力を《高める》ことが伴う。趣味とは「楽しんで愛好すること」。新しいものを生み出す創造性が求められるこの時代、楽しみながら自分の能力を高められることは、それ自体とてつもない財産なのではないだろうか。もちろん《味わう》趣味にしたって、自分の感覚を研ぎ澄まして《高める》面もあるのだが。

楽器の演奏も《高める》趣味の一つになりうる。そこで今回は、ピアノやギターよりも手軽に始められる“スプーンズ”を紹介しよう。たかがスプーンと侮ることなかれ。極めればどんな曲にも合わせられる、立派な打楽器になる。江戸川区から映像配信の許可が出たので、後日アップロードする映像にて解説も行いたい。ただし、そこそこ大きな音がするし、食器を演奏に使うのでお行儀がいいとは言えない。練習してみようと思ったら、うちの人の許可をとってからにしよう。

臨時休業の延長は残念だが、この機に何か自分の能力を高める、そんな趣味を探してみてほしい。(山口)

スプーンズ

どこにでもある何の変哲もないスプーン2本である。これを一对として持ち、カスタネットのようにして鳴らすと、アイルランドのパブ(居酒屋)セッションやカントリーミュージックで使われる立派な楽器になる。映画「タイタニック」(1997)のダンスシーンでも印象的に使われている。持ち手の部分が太いしっかりしたスプーンよりも、計量スプーンのような持ち手が薄いもののほうが持ちやすい。木製スプーンだと、異なった音色が味わえる。

How to play the Spoons.～スプーンズの演奏方法～

①準備するもの

- ・スプーン2本
(持ち手が薄いものがおススメ。)
- ・音を鳴らしてもいい環境
- ・おうちの人許可



②持ち方・鳴らし方

1. スプーン2本の背を合わせて、親指と人差し指、人差し指と中指の間に挟む。
2. 空中で振ってもずれないように、しっかり力を入れる。
3. 椅子などに座り、脚などに当てて鳴らす。



- ※ 当てる角度で音が変わる。
左：開いた音。通常はこちらを狙う。
右：こもった音。アクセントに使う。



③演奏方法の例

・8ビート



1. スプーンを脚などに当てて「チッチタッチ」のリズムで鳴らす。
2. スプーンを当てる位置を変えて、「タッ」のときにアクセントをつける。

・16ビート



1. 空いた手を太ももの上に構える。
2. スプーンを上下に当てて「チキチキタキチキ」のリズムで鳴らす。
3. 「タ」でアクセントをつける。

・ロール



1. 空いた手を力をこめて開く。指を伸ばす。
2. 親指を除くそれぞれの指の根元にスプーンを当ててから、脚に当てると、5連打になる。